

概要

- 令和5年2月2日(木) 1930頃、愛媛県今治市沖来島海峡で、乗員5名が乗った日本国籍貨物船「せいりゅう」と乗員4名が乗った日本国籍貨物船「幸栄丸」が衝突した旨、海上保安庁第6管区海上保安本部へ通報あり。
- 2日(木) 2055頃、貨物船「せいりゅう」は沈没。貨物船「せいりゅう」の乗員5名中3名は海上保安庁が救出済み、2名が行方不明。貨物船「幸栄丸」の乗組員4名は全員救出済み。
- 2日(木) 2220、第6管区海上保安本部長から海上自衛隊呉地方総監(呉・広島県呉市)に対し、行方不明者捜索に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 7日(火) 1400、海上自衛隊呉地方総監(呉)は、第6管区海上保安本部長から災害派遣撤収要請を受け、活動を終了。

防衛省・自衛隊の活動内容

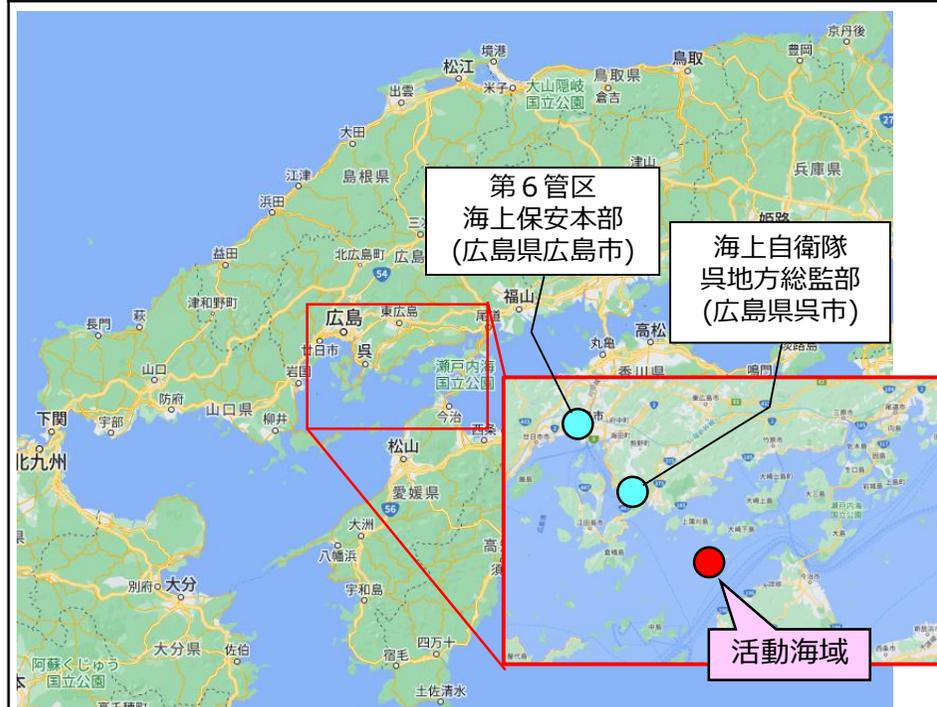
<艦艇>

- 3日(金) 0130から4日(土) 1340の間、水中処分母船(呉)×1が現場海域にて捜索活動を実施
- 3日(金) 0830以降、海上自衛隊第1潜水隊群(呉)の潜水艦救難艦「ちはや」が、現場海域において海上保安庁の潜水捜索支援を実施

<医官の派遣>

- 3日(金) 0857以降、自衛隊呉病院(広島県呉市)所属の潜水医学専門の医官×1名が、海上保安庁の潜水士に対する潜水支援等を実施

位置関係図



活動状況



現場海域に到着した
潜水艦救難艦「ちはや」



活動中の潜水艦救難艦「ちはや」



潜水艦救難艦「ちはや」内での
海上保安庁との打ち合わせ



潜水艦救難艦「ちはや」へ
潜水用器材を移載



水中処分員による救命いかだの揚収



水中処分員による
海上保安庁への救命いかだの引き渡し